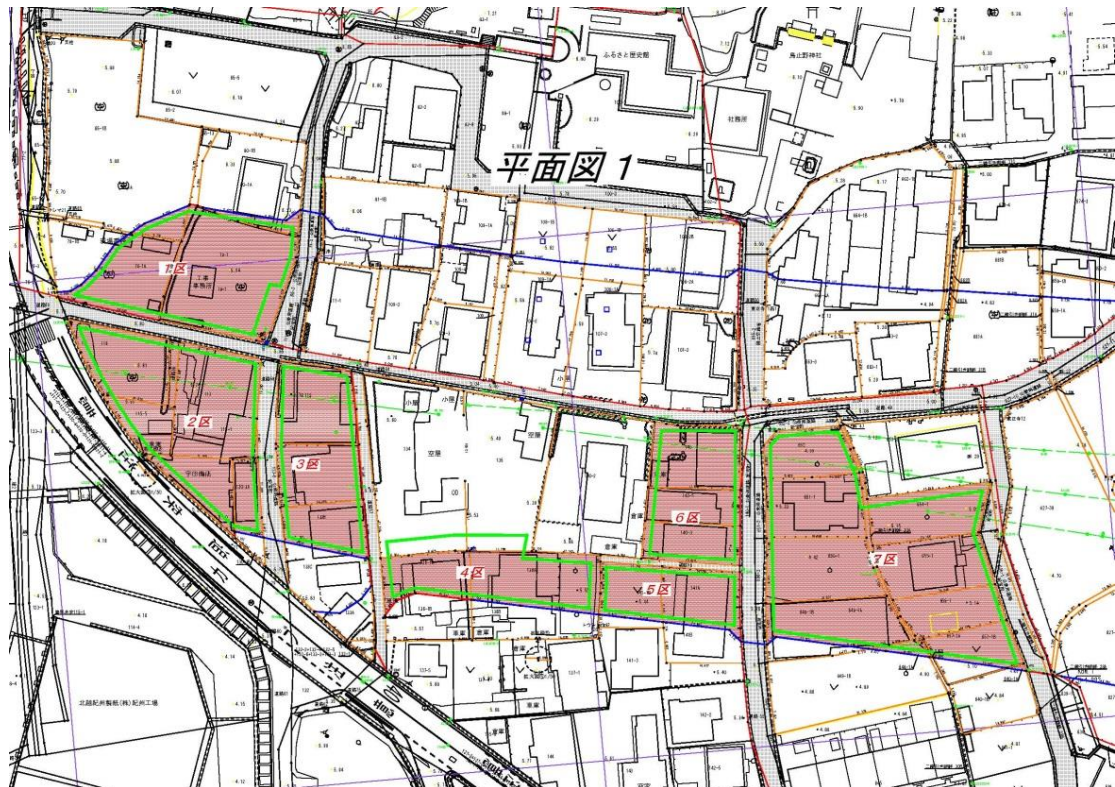


うどのにしいせき 鵜殿西遺跡（第3次）

☆今年度調査区



☆発掘進捗状況

【1区】 中世の井戸や溝、近世の土坑など多数の遺構が確認されました。その中で道路の側溝と考えられる溝があり、出土遺物から15世紀頃（室町時代）のものと推測されます。今後、隣接する調査区との関わりも重要になってくることと予測されます。

遺物は中世や近世の土師器が多数出土しました。また、縄文土器片も出土していることから、下層に縄文時代の遺構の存在が期待されましたが、下層確認調査の結果、遺構を確認することはできませんでした。

● 1区全景（東側より撮影）



● 南北にのびる溝（北側より撮影）



【2区】 7月半ばから調査が始まりました。

確認された遺構の中で一番大きいのは幅1.2m以上、深さ0.6m、長さ25m以上の大きな溝でした。注目すべきは、上記した1区の道路状遺構の可能性を示す溝と平行に流れていることです。人為的に埋戻された痕跡があり、隣接する北側の調査区（3区）へ続くと考えられます。今後の調査にご期待ください。

●2区全景（南西側より撮影）



●大溝の掘削（北側から撮影）



【4区】 8月初めから調査が始まりました。掘立柱建物跡とみられる遺構を確認しました。掘立柱建物は東西5.4m×南北3.6mの規模です。他にも中世や近世の土師器、中国製の青磁や白磁などが多数出土しました。

●4区全景（北側から撮影）



●掘立柱建物跡



※ 発掘現場をご覧になりたい方は、気軽に現地にお立ち寄りください。現地の詳しい情報は、6月5日付の発掘情報のページをご覧ください。

<問い合わせ先>

〒519-4325 三重県熊野市有馬町4621-32

三重県埋蔵文化財センター調査研究2課 担当者：宮崎・鐸木

電話：0597-89-5570

FAX：0597-89-5572

E-mail：maibun@pref.mie.lg.jp